

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-111	中学校	外国語	英語	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	英語 901	NEW HORIZON English Course 3		

1. 編修の基本方針

— 豊かな学びが未来を拓く —

3年生のテーマ **英語を通じて世界を見直そう**

言葉の力で、ともに 持続可能な世界をつくろう

2030年を見据えて採択されたSDGs（持続可能な開発目標）。

これからの中学生はまさにその「持続可能な世界」の担い手となる
ことが期待されています。

外国語で自分の思いや考えを表現できることは、世界の人々と助け合っ
て問題を解決するための大きな力になります。さらに、様々なテーマについて英語による「見方・考え方」を働かせて思考・判断を繰り返すこと
で、グローバル社会の一員としての自覚や見識が深まり、高等学校以降の学びにもつながるでしょう。

本教科書は、教育基本法の目的および理念を踏まえ、主体的・対話的に学びに向かい、積極的に他者や世界
とつながる心とコミュニケーション能力を育成することを目指します。

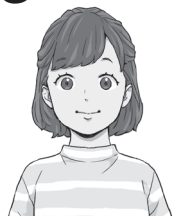


特色

1

学びの意欲の喚起

自立した
英語学習者を
育てる



特色

2

学びの質の向上

深い学びへと
いざなう



特色

3

学びの連続性の重視

小中高の学びを
つなげる



特色

1

【学びの意欲の喚起】 自立した英語学習者を育てる

- 学びたい気持ちと自ら学ぶ力を高めることで、生涯にわたって学びを継続できるようにしています。
- 3年生の発達段階に合わせて、世界についてより深く考えるための**多様な題材**を取り上げ、**英語学習への意欲**を高めるようにしています。
- 英語の学習のポイントを押さえるための「学び方コーナー」を設け、高等学校以降にも役立つ**効果的な学習方法**が身につくように配慮しています。

School backpacks travel overseas

"I wish I could go to school." "I wish I had pens and notebooks." Children in some parts of the world feel this way. We are running a campaign to help them. Send us unused school supplies, and we will give them to those children. You can also donate your old school backpack. It can have a new life overseas.



▲日本から送られたランドセルを使うアフガニスタンの子供たち (p.91 Unit 6)

学び方コーナー 3 これからの英語学習法

Point of View 英語を通して気持ちや考えを伝え合ったり、世界の国々について知識を深めたりするのは、とても楽しいことです。これからも、自分にとっての学び方を、楽しく英語を学びましょう。

Tip 1 教科書を使いつこう
中学校で学んだ読み方や文法は、これからの英語学習の基礎になります。いつでも振り返って復習をしましょう。教科書は大切にしましょう。

ディクテーション
●教科書から好きな本文を選ぶ。
●教科書を使って、その本文の音声を聞いて書き取る。
●教科書を見て、本文と書いた文が合っているか確認する。
●自分が書き取った音読した文を、意味を考えながら正しく音読しよう。

シャドーイング
●教科書から好きな本文を選ぶ。
●教科書を見ながら、自分のすぐそばについて発音しよう。
●慣れてきたら、教科書を見てつづけてみよう。

Tip 2 教科書以外の情報を活用しよう
本や雑誌、テレビやインターネットなど、英語学習の教材は身のまわりにもたくさんあります。興味に合わせて、どんどん活用していきましょう。

プレゼンテーション
自分の楽しみ (interest) のために英語を学んでみましょう。好きな物の作り方や、興味のあるもののインターネットの情報などがおすすめです。

▲生活の中で続けられる英語学習法 (p.114 学び方コーナー3)

特色

2

【学びの質の向上】 深い学びへといざなう

- 他者とのコミュニケーションを図る力の育成を重視し、基礎の段階から目的や場面、状況を踏まえることの大切さを前面に出しています。その場その場で**目的や場面、状況に合わせて英語で表現**できることは中学生にとっての**深い学び**であり、それを繰り返すことでコミュニケーションの力を高めていきます。
- 他教科の内容を英語で学ぶページを設け、**学びの融合**を図ることで、学習内容を深めることにも配慮しています。

STEP 1

日曜日、駅前で困っている様子の外国人がいます。自分だったらどうしますか。次の図を使って場面を想像し、プロット(あらすじ)を考えましょう。

ホテルの場所をたずねられますが…

手助けを申し出る

どこにあるか知っている

どこにあるか知らない

ホテルまでいっしょに行く

(ほかにもできることを考えよう)

Learning CIVICS in English

Task 1 投票について聞いて伝え合おう

1 今度の日曜日、緑市の市長選挙が行われます。MegとKaitoの話を聞いて、内容を下の表に整理しましょう。

	Meg	Kaito
18歳になったら投票(vote)に…	<input type="checkbox"/> 行く <input type="checkbox"/> 行かない	<input type="checkbox"/> 行く <input type="checkbox"/> 行かない
なぜなら… (聞かれたことをメモしよう)		

▲国内の外国人増加を踏まえた町中での手助けの場面設定 (p.67 Let's Talk 2)

▲公民と関連した選挙と投票の話題 (pp.68~69 Learning CIVICS in English)

特色

3

【学びの連続性の重視】 小中高の学びをつなげる

- 小中高の連携を図るため、**3年生では特に高等学校以降に備えた「語彙」の増強と「読む」力の向上を重視**しました。豊富な活動と十分な支援で、無理なくレベルアップを図っています。
- 1年間で何を学ぶか、どのように学ぶかを最初に示すとともに、巻末にチェックリストを設け、**4技能5領域の力が確実に**つくようにしています。
- このチェックリストは、学習指導要領にもとづいた**東書版CAN-DOリスト**をよりどころにしています。

Read and Think 1

新編は新しい学習の順序

Who does Anna? Wheelchair tennis. Japan has some world championships. One example is wheelchair tennis. I was amazed at his power and speed. However, Mr. Kunieda says, "Sometimes people say playing tennis in a wheelchair is amazing. It makes me uncomfortable. We're playing tennis just like other people." Another well-known player is Kamiji Yui. She became the youngest Grand Slam winner in 2014. She once said, "I want to keep smiling when I play. Smiles keep me positive." Her smiles keep us positive, too. These two players remind us of the power of sports. Everyone can enjoy sports, and playing and watching them makes people happy and positive. (124 words)

段階的に読む語数を増やし、3年終盤では見開きあたり300語程度までカバーします。

Playing sports makes me happy.

Practice: ● Playing sports makes me happy. ● practice / as / find ● big match / fun / nervous ● winning a match / me / very happy ● どんなものかなんかによって自分がいかに気持ちよくなるかを考えよう。ノートに書きましょう。

Round 1 Get the Gist

本文に書かれている語に、() に番号を書きましよう。

Round 2 Focus on the Details

	Kunieda Shingo	Kamiji Yui
What did they do?	won	became
What did they say?	feels	when wants to people say because it keeps her

Round 3 Think and Express Yourself

本文の内容の感想をいこう。playing and watching them (スポーツ観戦) makes people happy and positive. という文について、自分自身の感想を、(黄) にならなくて後悔を覚えて書きましよう。

例1) I think so, too, because I feel happy when I play soccer.
例2) I don't think so. I feel very sad when I can't play well.

▲Unit後半では読んで考えたことを表現します。(pp.12~13 Unit 1 Read and Think 1)

3段階の読み取りの課題で着実に読解力を育成します。

2. 対照表

図書の構成・内容	留意点	具体例										
全体	<p>①基礎・基本となる文や文構造，文法を系統的に学ぶと同時に，それらを単なる知識としてではなく，目的や場面・状況に合わせて活用できるコミュニケーションの力として育成することを目指しています。(第1号)</p> <p>②各Unitで取り上げる題材を通して，異なる文化の発想や考え方を知り，広い視野でものごとをとらえる力や相手の立場に立って理解しようとする態度を育成します。(第1号)</p> <p>③生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ，人権・平和や国際貢献などの道徳心を培うように配慮しています。(第1号)</p> <p>④学年3回の節目で行うStage Activityや巻末には，生徒の興味関心に広く訴える語彙集や資料があり，豊かな自己表現を促します。(第1号)</p> <p>⑤Let's Listen, Let's Talk, Let's Writeでは，言語の使用場面や動きを踏まえたコミュニケーション活動を行い，実生活に生かすことができます。(第2号)</p> <p>⑥Unitの中に働く人の姿を織り込み，働くことに関する意識の醸成を目指しています。(第2号)</p> <p>⑦学校での活動や他教科の学習に配慮して教材を配置しています。生徒は，自らの学校生活と重ねて学習が進められます。(第2号)</p> <p>⑧対話的な学習のために，ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し，相手意識を持ってコミュニケーションを行ったり，相手の立場に立って考えたり，協力し合ったりする心を育みます。(第3号)</p> <p>⑨イラストや写真を含め，男女が協力して家庭生活を営む様子を取り上げています。かつ，社会で働く人の姿についても男女を取り上げています。(第3号)</p> <p>⑩自然を大切にしたり，環境の保全を意識したりするような題材を取り上げています。(第4号)</p> <p>⑪世界に日本の良さを発信しようとする生徒を育てるために，伝統や文化，自然に関する題材を取り上げています。(第5号)</p> <p>⑫国語との関連を図り，日本語との関連から，英語について学べるような資料を掲載し，言葉への豊かな感性と情操を育成します。日本語と英語の比較によって文構造を理解させたり，日本語で親しんだ物語を英語の原文で味わったりできるようにしています。(第5号)</p> <p>⑬グローバル社会で生きることを意識し，海外の生活や文化を理解し，尊重する心を育み，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)</p>	<p>①p.8 Unit 1 「Sports for Everyone」のPreview, p.11のMini Activity, p.16のUnit Activity</p> <p>②pp.57~66 Unit 4 「Be Prepared and Work Together」</p> <div data-bbox="893 369 1516 683"> <p>日本国内の国際化にも目を向け，災害時の外国人支援を取り上げています。</p> <table border="1"> <caption>訪日外国人数の推移 (万人)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>訪日外国人数 (万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2008</td><td>~1,000</td></tr> <tr><td>2011</td><td>~1,200</td></tr> <tr><td>2014</td><td>~1,800</td></tr> <tr><td>2017</td><td>~2,800</td></tr> </tbody> </table> <p>日本政府観光局(2017)</p> </div> <p>pp.89~98 Unit 6 「Beyond Borders」</p> <p>③pp.52-55 Let's Read 1 「A Mother's Lullaby」 pp.71~80 Unit 5 「A Legacy for Peace」</p> <p>④pp.116~119 Optional Reading pp.153~155 Word Room 4</p> <p>⑤p.45 Let's Write 2 「記事への意見」 p.56 Let's Listen 3 「ラジオの災害情報」 p.67 Let's Talk 2 「町中での手助け」</p> <p>⑥p.14 Unit 1 「Sports for Everyone」</p> <p>⑦pp.48~50 Stage Activity 1 「My Activity Report」</p> <p>⑧pp.7~16 Unit 1 「Sports for Everyone」 pp.102~104 Stage Activity 3 「Let's Have a Mini Debate」</p> <div data-bbox="893 1120 1452 1411"> <p>3年間の集大成としてディベートに取り組みます。</p> </div> <p>⑨p.89 Unit 6 「Beyond Borders」</p> <p>⑩pp.35~44 Unit 3 「Animals on the Red List」 pp.106~109 Let's Read 2 「Power Your Future」</p> <p>⑪pp.19~28 Unit 2 「Haiku in English」 pp.84~86 Stage Activity 2 「Discover Japan」</p> <p>⑫pp.19~28 Unit 2 「Haiku in English」 p.82 Grammar for Communication 3 「後置修飾」 pp.120~122 名作鑑賞 「The Letter」</p> <div data-bbox="893 1702 1516 2049"> <p>日本の名句の英訳だけでなく，海外の子供たちの英語俳句も紹介しています。</p> <p>Arrow in the sky Farewell Canadian Geese Flying to the South</p> </div> <p>⑬pp.89~98 Unit 6 「Beyond Borders」</p>	年	訪日外国人数 (万人)	2008	~1,000	2011	~1,200	2014	~1,800	2017	~2,800
年	訪日外国人数 (万人)											
2008	~1,000											
2011	~1,200											
2014	~1,800											
2017	~2,800											

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

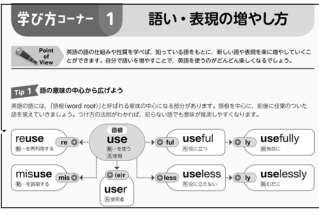
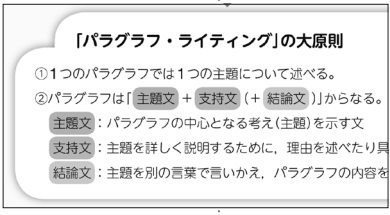
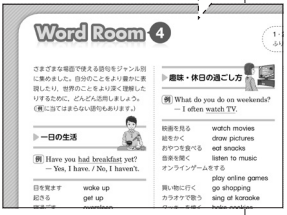
1 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

観点	留意点	具体例
1 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ①手書きの文字を想定した部分では、視認性に優れ、かつ書きやすさに配慮した、小学校と同じ書体を使用しています。 ②本文やNew Words, Key Sentenceなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、学習の流れを見通すことができ、安心して学習に取り組むことができます。New Wordsは背景に色をつけ、要素の区切りを明確にしています。 ③二次元コードをページごとに配し、音声学習に取り組みやすくしています。音声は、p.3に示すURLからもアクセスできます。 	<p>① p.17 Let's Write 1 「有名人へのファンレター」</p> <p>Dear Justin,</p> <p>②③ pp.7~16 Unit 1 「Sports for Everyone」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><input checked="" type="checkbox"/> New Words</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> apply, applies [əplai(z)]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Paralympic</p> </div>
2 ユニバーサルデザインへの取り組み	<p>Unit⇒技能領域別のLet'sシリーズ⇒Stage Activityの3つのメイン単元で構成されています。UnitとLet'sシリーズを積み重ねることで、学期末のStage Activityへと到達できます。このように構成を規則的にし、学習のユニバーサルデザイン化を図っています。</p>	<p>pp.2~3 目次「学習の見通しを立てよう」</p> <p>p.81 Let's Write 3 「グラフや表の活用」</p>
3 造本上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ①年間の指導時数がこれまでと同じなので、指導時間を配当しているページ数は増やさないようにしました。また、紙面をA4判にすることで、単語数の増加に応じた本文・語句欄でありながら過度な負担にならないよう配慮しています。 ②ページ数を抑えたうえ、軽量化を図った紙を使用することにより、重くなることを最小限に抑制しています。 ③特殊な糊を使って製本し、ページが大きく開くため、外側に折り返して手に持っても、ページがはがれず、堅牢なつくりです。 ④印刷は鮮明で、豊富な写真やイラストを効果的に配置しています。 	<p>World Population Prospects (2017)</p>

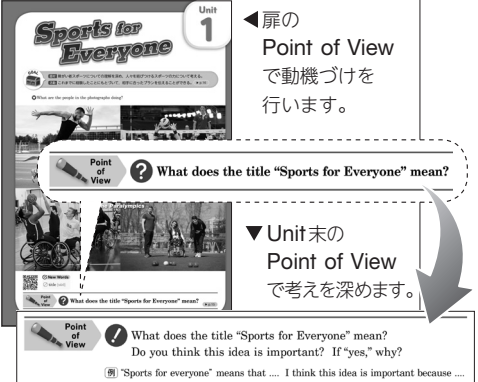
▲豊富な図やグラフでも、見やすさに細心の注意をしています。

2 今日的な課題への取り組み

観点	留意点	具体例
1 防災・安全	3年間を通して防災や安全の視点を重視しています。	pp.89~98 Unit 4 「Be Prepared and Work Together」
2 環境・資源エネルギー	Unitでは動物や自然を保護する大切さとその理由を、Let's Readでは今日我々が直面する エネルギー問題 を、テーマとして大きく扱っています。	pp.35~44 Unit 3 「Animals on the Red List」 pp.106~109 Let's Read 2 「Power Your Future」
3 多様性・人権への配慮	題材や人物の出身国は、英語圏や非英語圏、日本とできるだけ 多様な世界の国々から設定 しています。それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりできるようにしています。3年では特に、日本以外のアジアやアフリカの国々を多く取り上げています。また 男女のバランス にも配慮しています。	題材で取り上げている国々：コンゴ (Unit 3)、インド、南アフリカ (Unit 5)、アフガニスタン (Unit 6) 人物の出身国：オーストラリア、フィリピン、アメリカ、アゼルバイジャン
4 伝統・文化	日本の伝統・文化の良さを海外に発信 したり、海外で独自の発展を遂げた日本文化を紹介し、 新たな視点から自国への理解 を深めたりします。	pp.19~28 Unit 2 「Haiku in English」 pp.84~86 Stage Activity 「Discover Japan」
5 道徳教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ①多様な国々を取り上げることで、世界へ目を向け、視野を広げ、平和・国際貢献の精神を育てることができるようにしています。 ②ペアやグループの学習、発表するときなど、相手意識を持って伝え合い、伝わる喜びを感じられるように配慮しています。 	<p>① pp.89~98 Unit 6 「Beyond Borders」</p> <p>② p.99 Let's Talk 3 「食品の選択」</p> <div style="border: 1px dashed gray; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>一方的に自分の意見を言うだけでなく、相手の主張を受けて話すことが大切だよ。</p> </div> <p>◀活動時の留意点を領域別キャラクターに説明させています。(本資料p.6参照)</p>
6 小中高の連携	①小中高の連携を図るため、学習指導要領をもとにした 東書版CAN-DOリスト を作成し、それに則って学習目標を設定しています。	①巻末CAN-DOリスト

観点	留意点	具体例
<p>6 小中高の連携</p>	<p>②3年生では、高等学校の学習へ円滑につなぐため、段階的にリーディングの語数を増やし、課題を設定しています。また、語彙の増やし方や文章構成などを解説しています。巻末には発展的な語彙集もあります。</p>   	<p>②左から：p.6 学び方コーナー1 p.47 学び方コーナー2 pp.153-155 Word Room 4</p> <p>日本語から引けるジャンル別語彙集です。</p>
<p>7 言語力の育成</p>	<p>①俳句と英語の伝統的な詩を比較したり、親しみのある物語の英語の原典を読んだりなど、国語を意識した学習ができるようにしています。</p> <p>②レポートでの事実の示し方、ディベートでの意見の述べ方など、国語での留意点と共通性を持たせ、連携を図っています。</p>	<p>① pp.19~28 Unit 2 「Haiku in English」 pp.120-122 名作鑑賞「The Letter」</p> <p>② p.81 Let's Write 3 「グラフや表の活用」 pp.102-104 Stage Activity 3 「Let's Have Mini Debate」</p>

3 学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

観点	留意点	具体例
<p>1 授業支援と教員の負担軽減への取り組み</p>	<p>①1ページあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。</p> <p>②各Unitのパート構成を同じにしているため、学習の流れを見通しやすくなっています。</p> <p>③Unitでは扉の写真を使ってオールイントロを行ったり、扉に掲げたPoint of Viewと同じ発問をUnitの最後に入れて英語で答えたりする構成を取り入れ、英語で授業に入りやすくしています。</p> <p>④Point of Viewの発問は、Unitを通して考え続ける内容となっており、題材を通して英語の「見方・考え方」を身につけ、学びを深められるように配慮しています。</p> <p>⑤活動で発話・対話したり、書いたりする際の例文を丁寧に示し、指導の際にも子供自身が学習する際にも活用できます。</p> <p>⑥Stage Activityでは、イラストを使って生徒の活動の姿が見えるようにしており、紙面をたどっていくことで活動ができるようになっています。</p>	<p>① pp.2~3 目次「学習の見通しを立てよう」</p> <p>②③④ pp.7~16 Unit 1 「Sports for Everyone」</p>  <p>扉の Point of View で動機づけを行います。</p> <p>Unit末の Point of View で考えを深めます。</p> <p>⑤⑥ pp.48~50 Stage Activity 1 「My Activity Report」</p>
<p>2 カリキュラム・マネジメントへの取り組み</p>	<p>①他教科と特に関連を図ったページにはマークを示し、該当の内容を多面的に、より深く学べるように配慮しています。さらにDマークがある場合には、p.3に掲載している二次元コードやURLから関連する他教科の教科書紙面が見られます。</p> <p>②少人数学習を実施する学校でも使いやすいように、ペアやグループでの学習を入れたり、進度によって使えるOptional Readingを設けたりしています。</p>	<p>①② p.116 Optional Reading 1 「Borderless Friendship」</p>  <p>道徳の紙面にリンクしています。</p> <p>ライバルどうしの友情 スポーツシート 小事善徳と善徳花</p>
<p>3 教育のICT化への取り組み</p>	<p>①紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、手軽に本文と語句欄の音声を聞けるため、学校でも家庭でも音声を活用した学習ができます。音声にはURLからもアクセスが可能です。</p> <p>②Unitの最初に配置しているPreviewには、二次元コードでアニメーションと音声を付しているため、そのUnitで扱っている文法項目を使う「目的・場面・状況」を予想することができ、意味のある文法学習の導入となります。</p> <p>③制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。デジタル教科書の使用によって、必要な部分を大きくして見たり、音声へのアクセスが簡単にできたりするため、学習の効率化が図れます。</p>	<p>① p.3 「使われている主な記号について」</p> <p>② p.8 Unit 1 「Sports for Everyone」</p> <p>22 心から信じ合える友を</p>

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-111	中学校	外国語	英語	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	英語 901	NEW HORIZON English Course 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

【学びの意欲の喚起】 自立した英語学習者を育てる

●積極的に学びに向かう力

①学ぶ意義と学ぶ意欲の向上

英語を学ぶ意義を知ることは、学ぶ意欲につながり、生涯にわたって学び続ける姿勢にもつながります。これからの世界の担い手となる中学生にとって避けて通ることのできない、英語を通じて考えてほしいテーマを冒頭の口絵に提示し、本文では英語で触れるにふさわしい題材や英語を使いたくなる活動を充実するなど、積極的に**学びに向かう力**を喚起しています。

②目標と評価の一体化

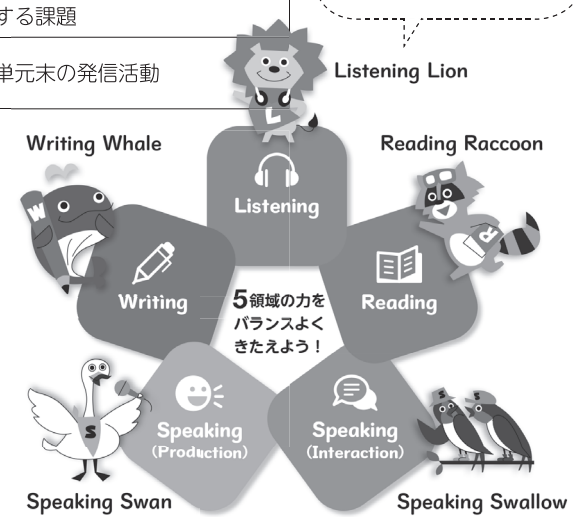
明確な目標を持ち、自分で評価ができるようになると、生徒の力は伸びます。本教科書では、3年間の学びの到達点に向けて、学年、学期、単元ごとにゴールを明示し、一歩ずつ着実に学習を進めます。

③5領域のバランスのよい育成

Unitではバランスよく5領域の力を身につけ、Let'sシリーズで場面や働きに特化した技能を扱います。基礎的・基本的な知識・技能から思考・判断・表現に向かって技能の統合を図り、各ステージ末のStage Activityでは総合的な発信の力に結びつけます。

単元	パート	聞く	読む	やり取り	発表	書く	
Unit	Preview	◎					文法が使われる目的や場面の提示
	Scene 1・2		◎	○	○	○	本文と、場面のある代入問題
	Mini Activity	◎		◎	○	◎	ListenとSpeak & Write
	Read and Think 1・2		◎	○	○	○	長めの本文と、考えを表現する課題
	Unit Activity	○		◎	◎	◎	単元末の発信活動
Let's	Listen	◎		○	○	○	
	Read		◎	○	○		
	Talk			◎			
	Write		○			◎	
Stage Activity		○	○	◎	◎	◎	

各領域のキャラクター達による、思考・判断・表現する際のヒントやアドバイスを各所に示しています。



【学びの質の向上】深い学びへといざなう

●目的・場面・状況を踏まえたコミュニケーション

①意味のある活動がつなぐ深い学び
 中学生にとっての深い学びとは、目的・場面・状況に合わせた英語が使えるようになることです。文法事項を導入するUnitでは、そこで扱う文法が使われる目的や場面、状況を想像させるPreviewから入ります。Previewには二次元コードでアニメーション付きの音声を用意し、場面の理解を促します。

②場面のあるパターンプラクティス
 各PartのPracticeも本文と関連する場面を取り上げ、単なる入れ替えではなく、意味のある練習ができます。

③確かな文法力
 使用場面を提示することで、コミュニケーションを支える文法がしっかり身につきます。学年をまたいだ復習事項は必要に応じて側注でも取り上げました。

◀pp.8~9 Unit 1

p.100 Grammar for Communication 4▶

【学びの連続性の重視】小中高の学びをつなげる

●高等学校への橋渡し

①「読む」力をつける

UnitのRead and ThinkとLet's Readを中心に、100~500語レベルまで段階的に語数を増やし、入試や高等学校以降に向けた読解力をつけます。漫然と1語ずつ読むのではない「読み取り方」と、読後に「考えて表現する力」も身につくように課題を工夫しています。

②思考力・判断力・表現力を育てる

図やグラフを読み解く課題を増やしました。さらに、学力テストのスピーキングテストに対応するために、即興でのやり取りや場面に合わせて対話の活動を取り入れています。




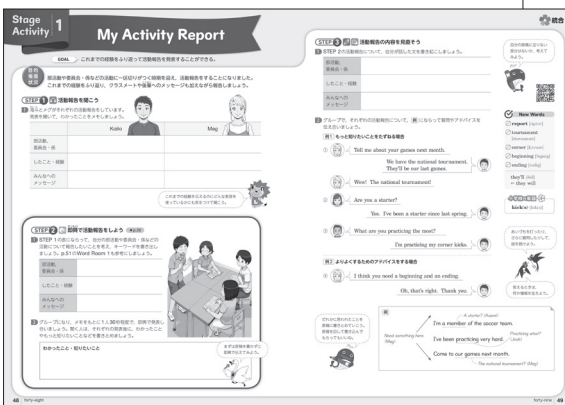
▲p.67 Let's Talk 2

「読み取り方」の学習につながるリーディング課題は、Round 1 概要をつかむ、Round 2 詳細を押さえる、Round 3 考えを表現する、の3段階で設定。文章のタイプに合わせ、リテリングや年表完成など様々です。

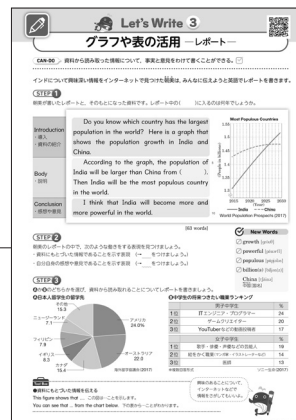
▼pp.94~96 Unit 6 Read and Think

後半のUnit 5・6では、見開きにまとめられた約300語の本文を通して読みます。生徒の負担に配慮して、新出語には訳をつけました。写真や図表も豊富です。

観点別特色の一覧

観点	具体例
<p>1 教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の内容全体を通して、グローバル時代に生きる全ての日本人に求められるコミュニケーション能力を育みます。英語を学ぶことで身につく見方・考え方が国や文化の違いを越えて人と人を結ぶ豊かなコミュニケーションをもたらす可能性に気づき、グローバルな視点での発言や行動に結びつけていくことを目指しています。(全体) ●国際社会の一員として、オリンピック・パラリンピックにも見られるような自国の伝統・文化を尊重するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしています。(pp.7~16 Unit 1, pp.84~86 Stage Activity 2 など) ●教育基本法の第2条を遵守しています。(本資料p.3参照)
<p>2 学習指導要領の遵守</p>	<p>▶「目的や場面、状況」についての意識を促すアイコン</p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ●中学校学習指導要領(外国語科)に示された目標に則り、コミュニケーション能力の育成を目指し、その基礎となる言語材料の知識と技能を基盤とし、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現できることを深い学びととらえ、順を追った活動を組み込んでいます。(全体) ●文法はコミュニケーションを支えるものとして、どのような目的や場面、状況で使われるかを生徒が理解することを重視しています。(Unit 1~6 Preview など) ●英語で意思や情報を伝え合う対話的な活動や協働して問題解決に当たる活動を充実させ、対話的な学習を促しています。さらに、話されたり書かれたりしたことの意図や背景を推測したり、自分の考えを深めてそれを表現につなげたりするようなコミュニケーション活動を充実させています。(Unit 1~6 Unit Activity など) <div style="text-align: right;">  </div>
<p>3 内容・系統</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校3年間と高等学校以降の学びを見通して、中学3年生での到達点(ゴール)を示しているのので、豊富な言語活動を通して明確な到達点に向かって学習を進めることができます。(pp.2~3 学習の見通しを立てよう、巻末口絵 学習をふり返ろう—CAN-DOリスト—) ●各Unitの冒頭に必ず到達点(ゴール)を示しています。また、最後にも同じ文を載せ、振り返りや自己評価をすることができます。 ●生徒が学びたい題材、やってみたい活動や活動を豊富に取り上げ、積極的に英語を使う授業の場づくりに資するようにしています。 ●Mini Activity (単元途中)⇒Unit Activity (単元末)⇒Stage Activity (学期末・年3回)という順で、全体を通してStage Activityに向けて活動を系統的に積み上げていきます。各Activityの内容は以下の通りで、いずれもパフォーマンス評価を行うことができます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) Mini Activity : ① Listenと② Speak & Writeという2種類の活動があり、Unitで学習した文法の定着の確認に重きを置いています。(p.11 Unit 1) (2) Unit Activity : 単元末に、学習した文法の知識を活用しながら複数の技能領域を組み合わせるペアあるいはグループ活動を行います。(p.16 Unit 1) (3) Stage Activity : 学期末に、これまでに積み上げた知識や技能を総合的に扱って発信に結びつける活動を行います。(pp.48~50 Stage Activity 1) <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>4 組織・配列・分量 (スパイラル・学年間接続など)</p>	<p>◆組織・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全てのUnitは、既習事項をスパイラルに学習できる構成になっています。Unit 0で前学年までの学習を引き継ぎ、Unit 1~6で3年で初出の文法を学習します。どのUnitも、その文法が使われる目的・場面・状況を音から導入し、4技能5領域全てをバランスよく扱います。(本資料p.7参照) ●「学び方コーナー」では英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げ、生涯英語を学ぶ主体的な学習態度を育成することを目指します。3年では、「話し・表現の増やし方」(語根と接辞、類語、連語など)、「文章の組み立て方」(パラグラフ・ライティング)、「これからの英語学習法」(ディクテーション、シャドーイングなど)を扱っています。(p.6, p.47, p.114) <p>◆分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小英が教科化されたことを重視し、また自然なリズムのある英文に触れるように、教科書で扱う分量を段階的に増やしています。同時に、高等学校への接続を考え、入試で扱われる分量を想定して英文の量や活動の種類についても充実させています。(全体) ●語彙は、小中学校の教科書やCEFR-Jの語彙リストのA1レベルを中心に選定しています。小学校で学習したとみなされる語を630語と設定し、それに加えて中学校の新出語約1,700語を加えた約2,300語を扱っています。(pp.127~144 Word Listまたは本資料p.9④の図参照)

観点	具体例		
<p>4 組織・配列・分量 (スパイラル・学年間接続など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●上記約2,300語のうち小学校既習語から468語、中学校新出語から532語の合計1,000語を「特に覚えたい語」と設定し、Word Listで太字で示しています。この1,000語は、全ての生徒の発信語彙として繰り返し提示して定着できるようにしています。(下図★印参照) ●中学校新出の1,700語は、教科書本文だけでなく本文以外の部分で扱う語も含め、生徒の負担増を軽減しています。(資料編Optional Readingなど) <p style="text-align: center;">小・中学校で扱う語 約2,300語 ※★は「特に覚えたい語」(合計1,000語)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 小学校の既習語 630語 (★468語) </td> <td style="text-align: center;"> 中学校の新出語 約1,700語 本文 約1,200語 本文以外 約500語 (★532語) </td> </tr> </table>	小学校の既習語 630語 (★468語)	中学校の新出語 約1,700語 本文 約1,200語 本文以外 約500語 (★532語)
小学校の既習語 630語 (★468語)	中学校の新出語 約1,700語 本文 約1,200語 本文以外 約500語 (★532語)		
<p>5 基礎的・基本的な知識、コミュニケーションの4技能5領域の定着への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●CAN-DOリストに基づき、3学年を通して4技能5領域の技能が確実に育成できるようにしています。(本資料p.6参照) ●Unit / Let'sシリーズ(Listen, Read, Talk, Write) / Stage Activityの3つの主要単元で、知識・技能の習得と活用を繰り返しながら思考力・判断力・表現力等の育成を目指します。いずれの単元でも、言語を使用する目的・場面・状況を意識して活動に取り組めるような仕組みにしています。(本資料p.6参照) 		
<p>6 資質・能力への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●変化の激しいグローバルな社会で生きていくための資質・能力に配慮し、英語を通じて異文化理解を深めたり、多様性を認めたりするとともに、他者への共感や思いやりを持って共生社会の実現を目指す態度を育成します。(全体) ●各学年にテーマを設け、題材で扱う範囲を身近な話題から社会的・世界的な話題へと段階的に重心を移しています。3年のテーマは、「英語を通じて世界を見直そうー持続可能な世界のためにー」とし、1・2年の学びを生かして引き続き英語を使いながら、英語ならではの視点で世界の諸問題について考えを深め、自分の意見や考えを世界に向けて表現できるようにしてほしいという願いを込めています。(全体) ●技能と文法を車の両輪のように考え、学習段階に合わせた活動を扱っています。活動を通して、使える英語が身につくようにしています。(本一覧表p.8の③参照) 		
<p>7 学習方法・授業展開への配慮 (アクティブ・ラーニングなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各紙面において学習要素を定位置に置き、特別支援への配慮をしています。Unitでは本文下に基本文(Key Sentence)と練習(Practice)、本文横に語句欄(New Words)を配置し、関連する活動は見開きの右側に配置しています。語句欄の上にある二次元コードからは、本文と語句欄の音声にアクセスできます。(p.9 Unit 1など) ●英語で授業を行うことに配慮し、Unitの扉の写真を使ってオーラルイントロを行ったり、Unitの扉と最後にあるPoint of Viewの英語の発問を使って考えさせたりできるようにしています(p.7, p.15 Unit 1)。また、全ての単元でペアやグループ活動を充実させています。さらに、教師用指導書には発問の英訳を掲載します。 		
<p>8 学習の習慣化への取り組み (規律・態度など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●Word Roomで語彙をジャンル別に豊富に示し、活動で自分が言いたいことを表現するときに使えるようにしています。(p.51, p.87, p.105, pp.153~155 Word Room) ●授業以外の場で続けられる英語学習法を紹介しています。(p.114 学び方コーナー 3) ●授業以外の場でも英語の音声を聞けるよう、二次元コードを付しています(p.4 Unit 0など)。二次元コードを利用できない場合は、p.3に示すURLからアクセスすることができます。教師用指導書付属のメディアにも音声を収録します。 		
<p>9 言語に関する配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●言語力育成への視点から、国語との関連を図っています。日本の俳句と英語の詩を比較したうえで英語俳句を書く活動や、日本語で親しんだ物語を英語の原文で読む活動を取り入れています。(pp.19~28 Unit 2, pp.120~122 名作鑑賞) ●英語の論理に合った文章構成の例や、事実と意見を分けて書くレポートの例、相手の意見を受けて自分の考えを効果的に伝えるディベートの例などを示しています。(p.47 学び方コーナー2, p.81 Let's Write 3, pp.102~104 Stage Activity 3など) 		
<p>10 他教科との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●CLIL(内容言語統合型学習)への対応として他教科での学習を生かすもの、現代的な諸課題に対応するものなどを扱い、生徒の理解を深めるようにしています。(全体) ●「資料の読み取り」の力を育てるため、図表や非連続型テキストを含む教材を扱っています。(p.81 Let's Write 3, pp.106~109 Let's Read 2など) 		
<p>11 造本上の工夫 (学習への効果)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小英の教科化による語彙や英文量増加の一方で、年間授業時間数が増えていないことに配慮し、指導時間を配当するページは増やさないようにするため、A4判を採用しています。学校で使われる用紙サイズにも配慮しています。また、判型を大きくすることで写真等のレイアウトやデザインをダイナミックにし、かつ見やすくしました。 ●軽量化された用紙を使い、かつ、薄くても裏写りしにくいものを使用しています。 		



2. 対照表

3年	図書の構成・内容・主な言語材料		学習指導要領の内容		該当箇所 ページ	配当 時数
			2 内容	3 指導計画の作成 と内容の取扱い*		
Unit 0	Three Interesting Facts about Languages	1・2年の学習事項	(1), (2), (3) ①イウエオカ, ②	(2)エカ	4~5	2
Unit 1	Sports for Everyone	現在完了形(経験) / make + (代)名詞+形容詞 / show [tell] + (代)名詞+ that 節	(1), (2), (3) ①イウエオカ, ②	(2)エカ (3)イ (ア)(イ)(ウ)	7~16	8
Unit 2	Haiku in English	現在完了形(完了・継続) / 現在完了進行形			19~28	8
Unit 3	Animals on the Red List	It is ... (for + (人)) + to / want + (人) + to / let [help] + (人) + 動詞の原形			35~44	8
Unit 4	Be Prepared and Work Together	間接疑問文 / 主語 + 動詞 + 間接 目的語 + what など で始まる節 / 現在分詞 / 過去分詞			57~66	8
Unit 5	A Legacy for Peace	名詞を修飾する文 / 関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格)			71~80	8
Unit 6	Beyond Borders	仮定法 (I wish I could [had] / If I were [had], I would) / 主語を説明する関係代名詞			89~98	8
Let's Listen	1. ディスカッション 2. 講演 3. ラジオの災害情報 4. テレビの国際ニュース 5. 世界で働く人へのインタビュー 6. 中学校生活の思い出		(1)ア, (3)①イエオカ	(2)イ	18 34 56 70 88 101	各1
Let's Read	1. A Mother's Lullaby 2. Power Your Future 3. A Graduation Gift from Steve Jobs		(1)ウ, (2), (3)①ウエオ	(3)イ (ア)(イ)(ウ)	52~55 106~109 110~113	各4
Let's Talk	1. はじめての出会い 2. 町中での手助け 3. 食品の選択		(1)ウ, (3)①エ, ②		29 67 99	各1
Let's Write	1. 有名人への手紙 2. 記事への意見 3. グラフや表の活用		(1)ウ, (3)①ウカ		17 45 81	各1
Stage Activity	1. My Activity Report (Word Room 1) 2. Discover Japan (Word Room 2) 3. Let's Have a Mini Debate (Word Room 3)		(1)ウ, (2), (3)①イウエオカ	(2)カ	48~51 84~87 102~105	各4
学び方コーナー	1. 語い・表現の増やし方		(1)ウ		6	1
	2. 文章の組み立て方		(3)①エ		47	1
	3. これからの英語学習法		(3)①イウ		114	1
Grammar for Communication	1. 現在完了形と現在完了進行形, 3. 後置修飾		(1)エ	(2)エ	30, 82	各2
	2. 不定詞, 4. 仮定法				46, 100	各1
Learning SCIENCE in English Learning CIVICS in English			(3)①イウエオカ	(1)オ	32~33, 68~69	各2
					合計	99

*学習指導要領の内容「3 指導計画の作成と内容の取扱い」について、特記のない項目は図書の構成全体において扱う。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-111	中学校	外国語	英語	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	英語 901	NEW HORIZON English Course 3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
120～122	名作鑑賞 The Letter	2	第2 2 (1)エ ※上記項目において関係副詞と分詞構文は扱うこととされて いませんが、原文のまま掲載しました。	0.25
合計				0.25

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容